

| 和名  | 分類         | 特徴ほか                    | 会える場所        |                  |      |     |
|-----|------------|-------------------------|--------------|------------------|------|-----|
| マガモ | カモ目<br>カモ科 | 冬鳥（一部で留鳥）<br>オス・メス共青い翼鏡 | ハイム<br>(中野島) | 多摩川土手<br>(中野島周辺) | 生田緑地 | その他 |
|     |            |                         | x            | ○                | ○    | 全国  |

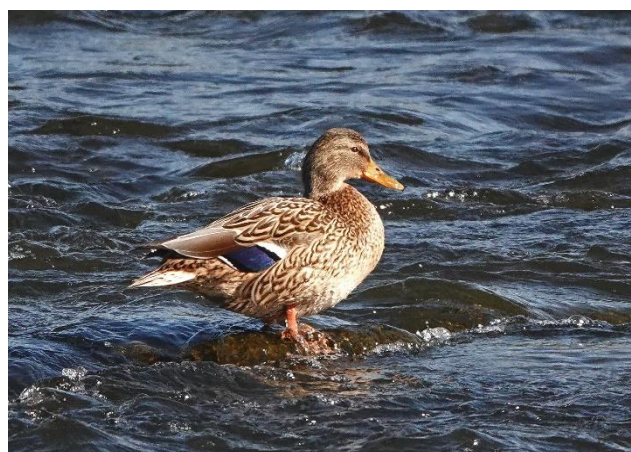


↑ 手前から♀、♂ 多摩川宿河原堰 1月29日（2024年）

渡来する数が多くもっとも身近なカモの一つ。家禽のアヒルはこのマガモを原種としていて種としては同じである。オスの頭部は緑色の金属光沢（構造色で見る角度によっては青紫に見える）があり、アオクビとも呼ばれる。また、時折、カルガモとのハブリッドが出現し、マガモ・カルガモを繋いで俗称「マルガモ」と呼ばれている。尚、カモ類は交雑しやすい傾向があるとのこと。



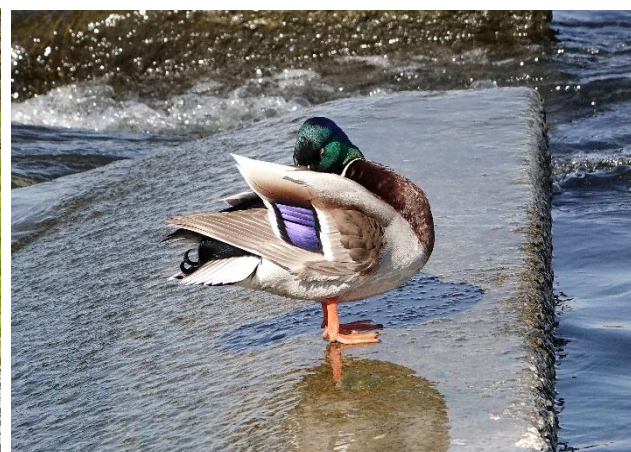
↑ 派手な♂ 多摩川宿河原堰 3月10日（2025年）



↑ 地味な♀ 多摩川宿河原堰 12月26日（2023年）

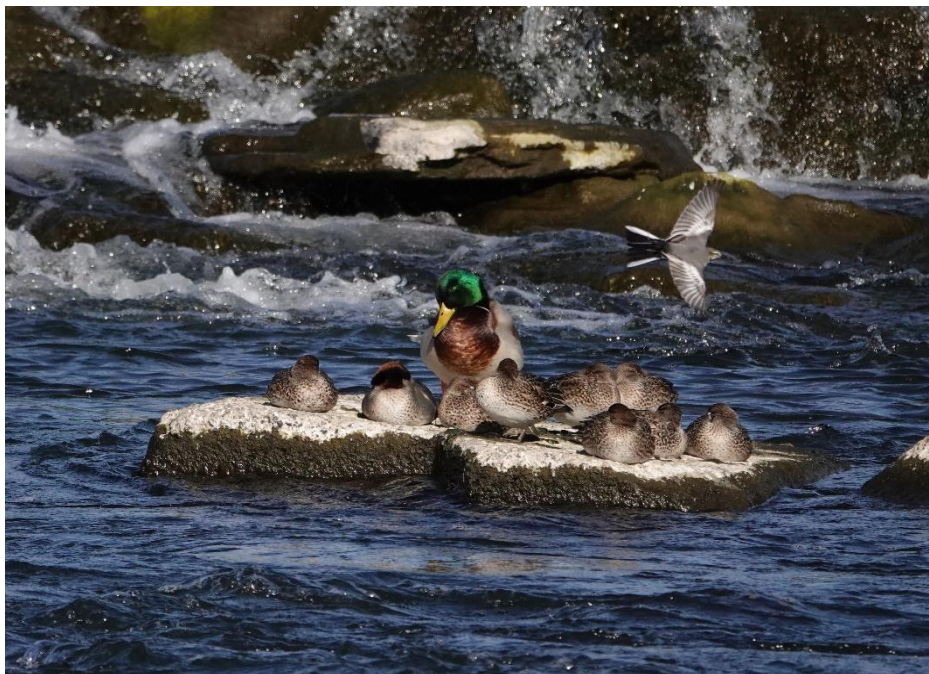


↑ 主として水草等の植物食性だが時に雑食性も示す  
多摩川中野島 2月2日（2024年）



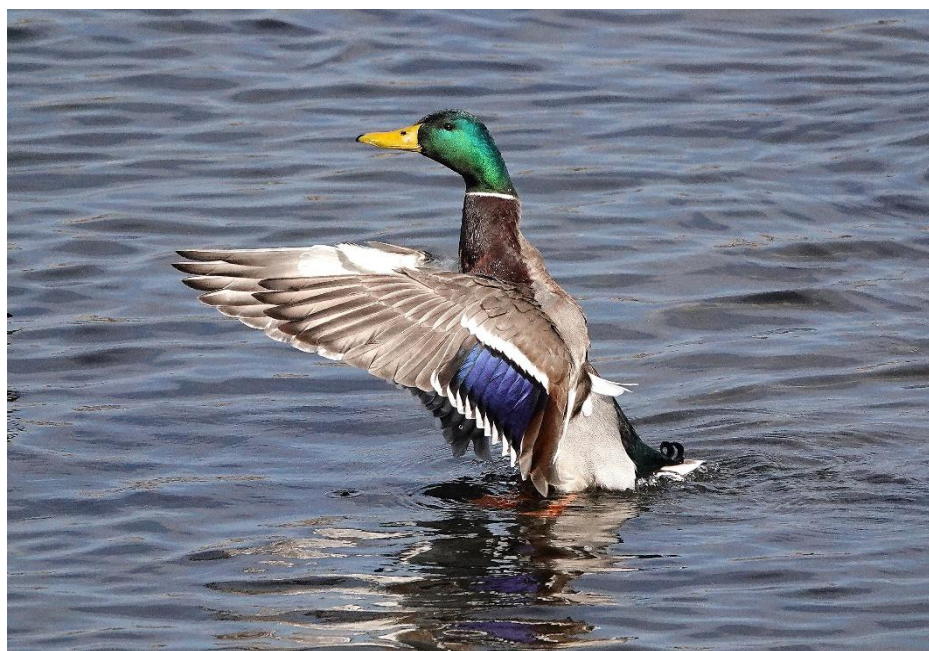
↑ ♂の羽繕い 多摩川宿河原堰 3月10日（2025年）





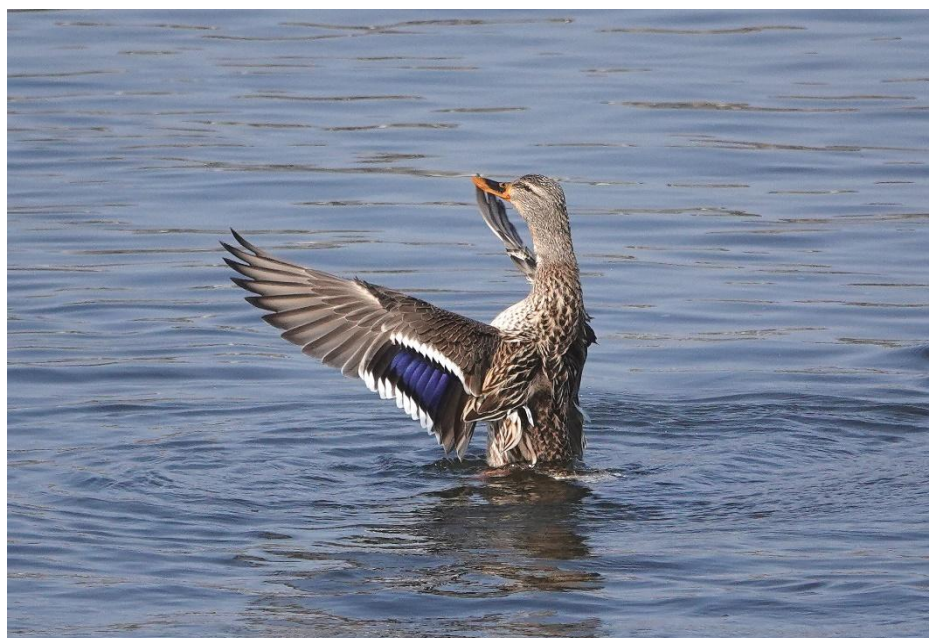
← 川中のステージ  
マガモ、ヒドリガモ、ハクセキレイ

多摩川宿河原堰 12月21日（2024年）



← ストレッチ、示威行動？ ♂

同上 12月30日（2023年）



← ストレッチ？ ♀

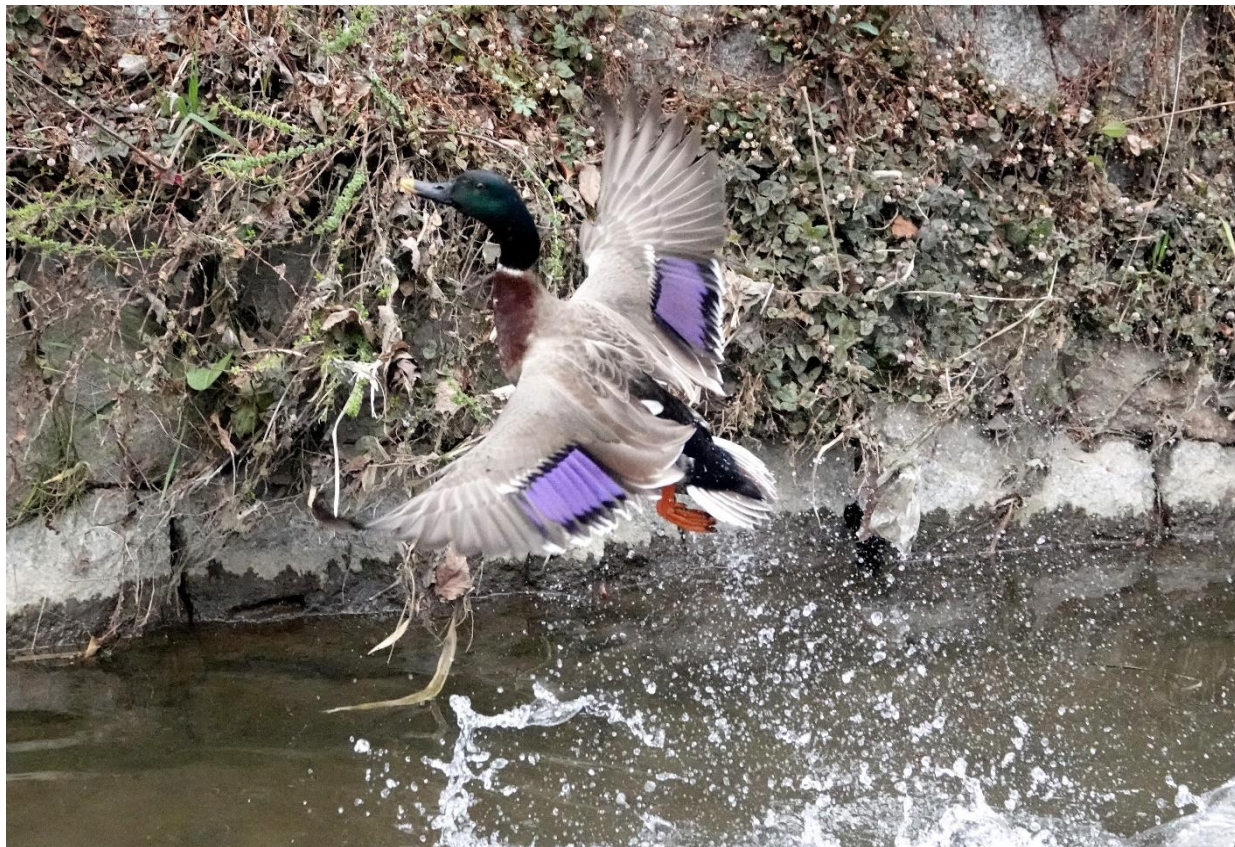
同上 1月24日（2025年）



マルガモ　：　マガモとカルガモのハイブリッド（交雑）



↑ マルガモ（嘴はカルガモで明らかにマガモと違う）　二ヶ領用水　2月14日（2022年）

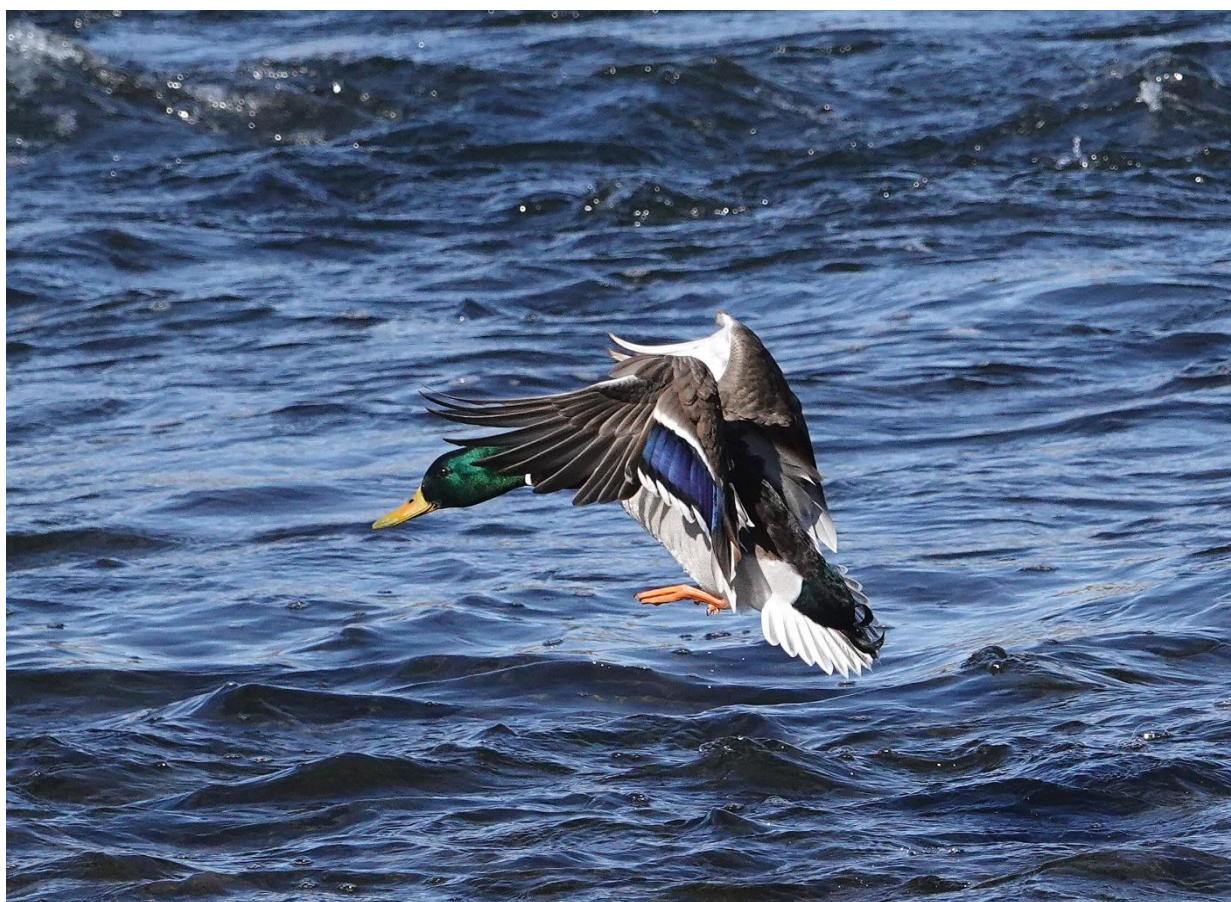


↑ マルガモ飛翔　二ヶ領用水　2月17日（2021年）



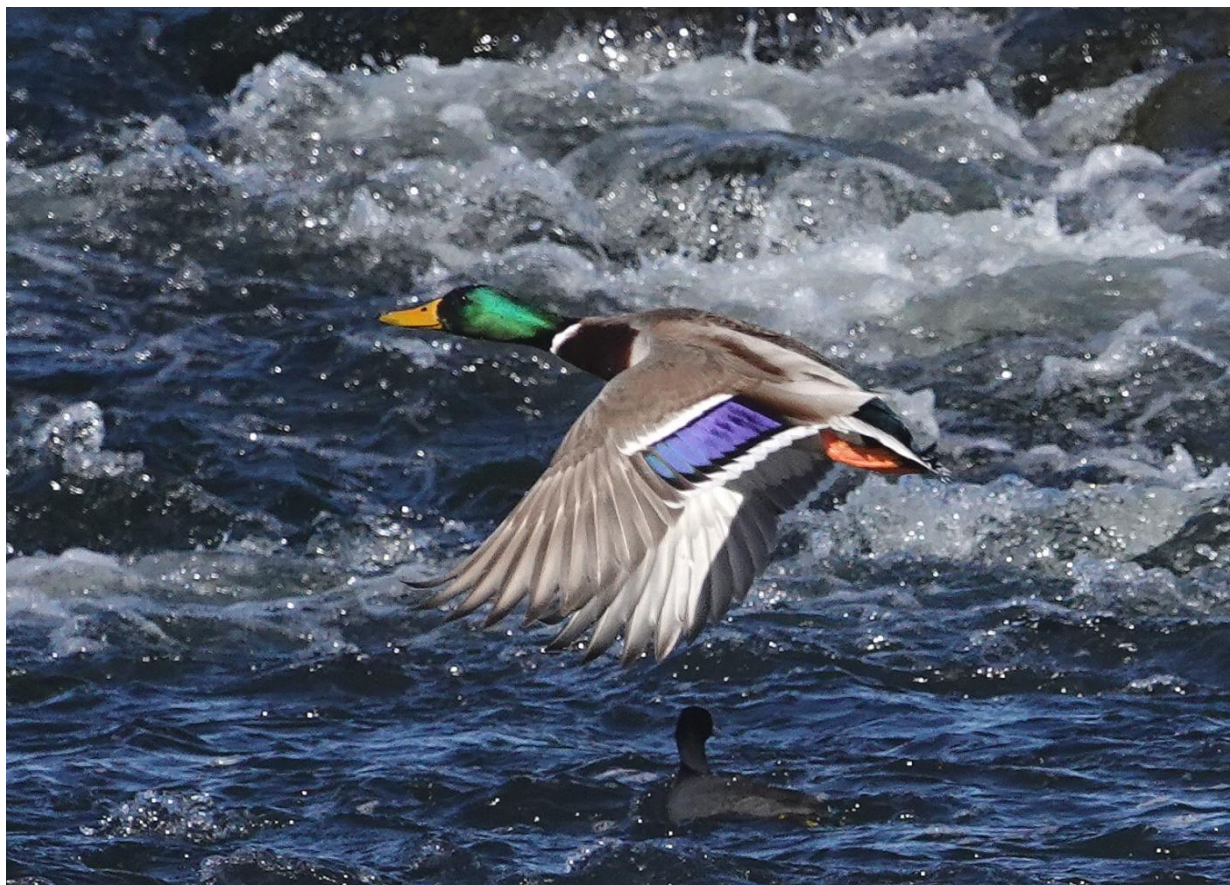


↑ ♀ 飛翔 多摩川宿河原堰 2月10日 (2025年)

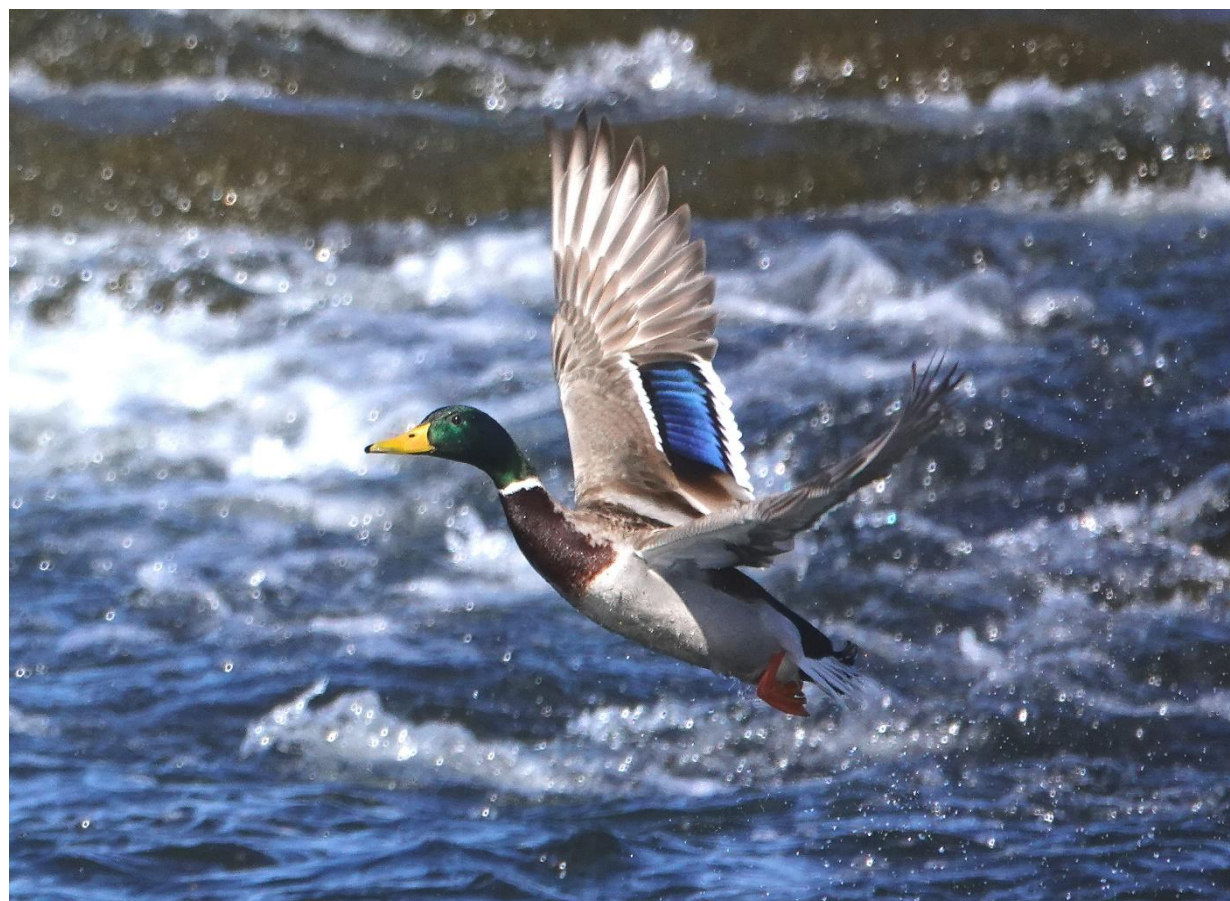


↑ ♂ 着水準備 多摩川宿河原堰 2月9日 (2025年)





↑ ♂ 着水準備 多摩川宿河原堰 2月9日 (2025年)



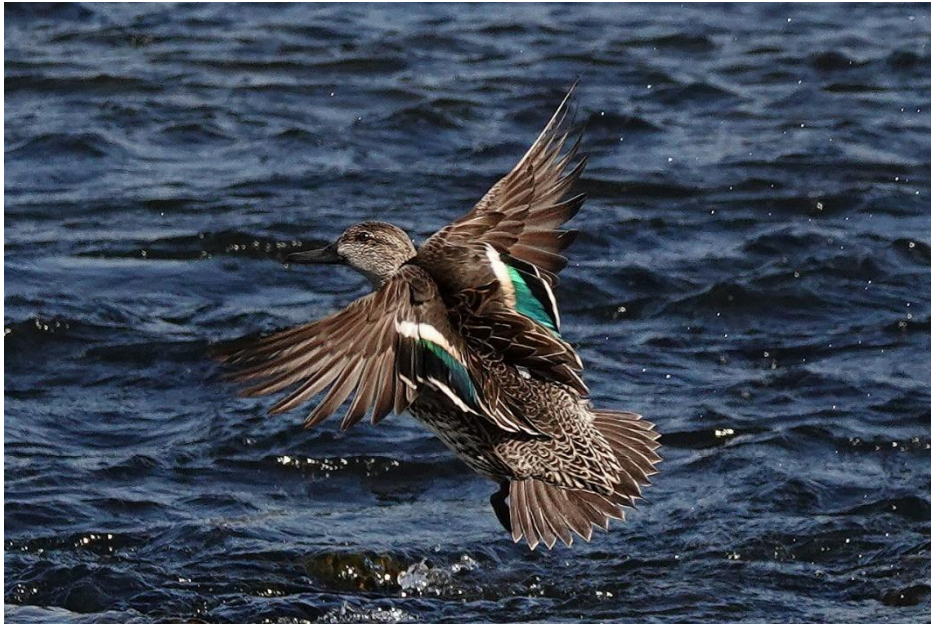
↑ ♂ 飛翔 多摩川宿河原堰 2月9日 (2025年)



翼鏡いろいろ

① コガモ 緑

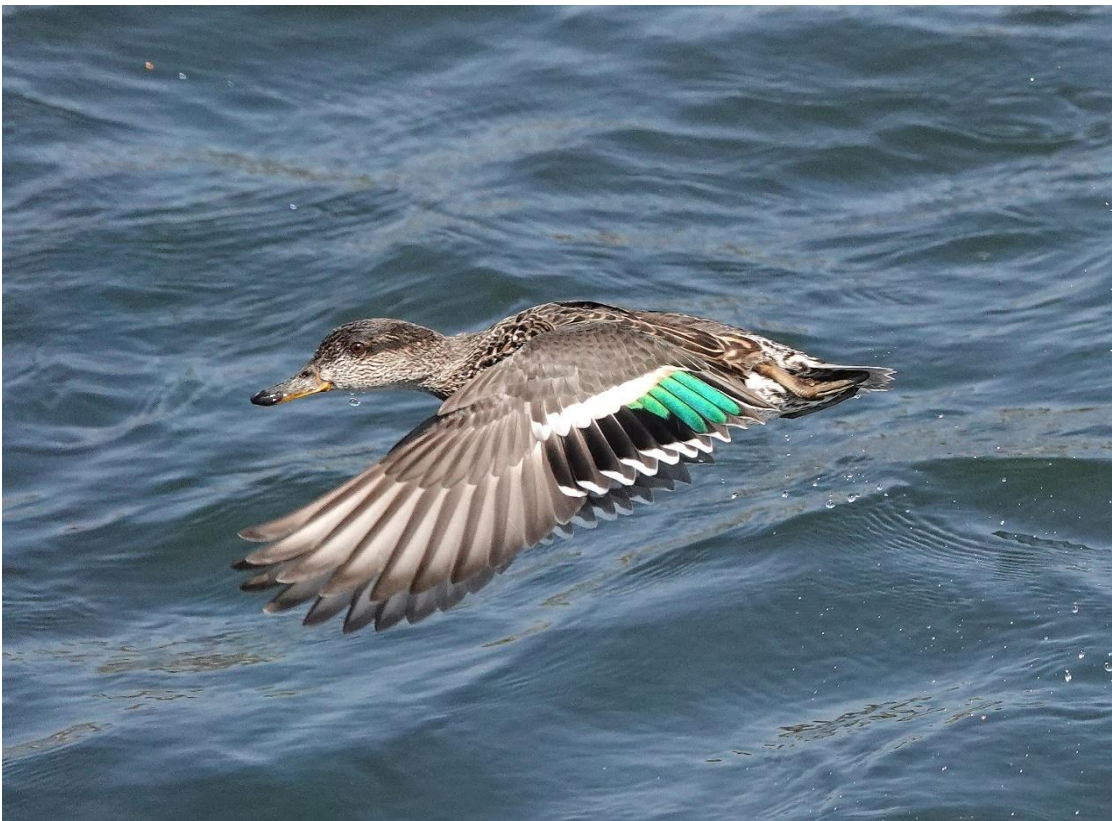
翼鏡：次列風切の一部で普段は殆ど見えずカモの種類により色が異なる。渡りの際に仲間の識別に利用するという説もある



← ♀多摩川宿河原堰  
12月25日（2023年）

↓← 多摩川宿河原堰  
3月17日（2025年）  
手前2羽はオカヨシガモ

↓→ 同  
12月30日（2023年）  
羽繕い

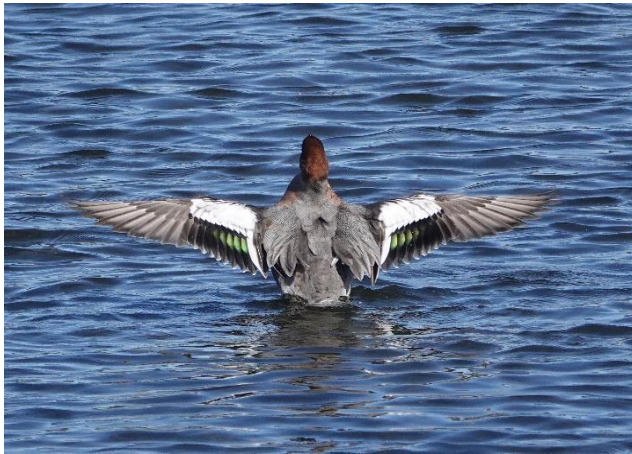


← 同  
3月21日  
（2025年）



## 翼鏡いろいろ

### ① ヒドリガモ 渋い緑



↑ ♂ 多摩川宿河原堰 12月9日 (2024年)



↑ ♂ 同 3月20日 (2025年)

### ② ハシビロガモ 明るい緑



↑ ♂ 多摩川 聖蹟桜ヶ丘 3月8日 (2024年)



↑ ♂ 同 3月8日 (2024年)

### ③ オカヨシガモ 白



↑ 多摩川宿河原堰 1月24日 (2025年)

### ④ オナガガモ くすんだ緑



↑ 同 1月23日 (2026年) 後方羽はコガモ